

生涯学習大沼令和6年度第3回の教養講座を開催しました

9月20日(金)、「日立市市政出前講座」を開催し、23名の参加者と聴講しました。演題は、「日立市の幹線道路の整備について」であり、日立市役所 幹線道路整備促進課 係長の根本 司様にお願ひしました。

国道の整備は、国道6号や50号のように1桁、2桁は国が、245号のように3桁は県が担当すること、取手市から北茨城市まで繋がる茨城県内6号線の混雑時において、日立市内の走行速度が一番遅いこと等、身近でも余り知られていないお話から始まりました。

本題では、以下の工事内容や工程について概要をご説明いただきました。

- ・「国道6号大和田拡幅」：建設中の道路が完成後、そちらを上下線に。現国道は茂宮川橋他が老朽化のため架け直し。最終的に片側2車線化
 - ・「国道6号日立バイパスⅡ期」：海上道路を国分町まで延伸
 - ・「国道245号久慈大橋」：通称「赤い橋」の海側に4車線の橋を架け、完成後は「赤い橋」を解体・撤去
 - ・「国道245号日立港区北拡幅（擁壁工事区間）」：現国道の海側に2車線整備後、そこを上下線とし、現国道を再舗装。最終的に片側2車線化
- 生活に直接影響のあるテーマでもあり、多くの質問が出されたことから参加者の興味の深さを感じ取れる講演会でした。

生涯学習部 薄 正起

